

2025年7月31日

関係者各位

大 東 文 化 大 学
社会学部長 小 湊 浩 二
(公 印 省 略)

「ケアの社会学」並びに「福祉医療政策」非常勤講師の公募について（依頼）

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、大東文化大学社会学部では下記の要領により非常勤講師を公募することとなりました。つきましては、ご応募方よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

1. 所 属：大東文化大学 社会学部 社会学科
2. 採用人数：1名（非常勤講師）
3. 担当科目：「ケアの社会学」（半期2単位・後期・1コマ）
「福祉医療政策」（半期2単位・後期・1コマ）
※「福祉医療政策」につきましては、主担当教員の復職予定に伴い、2026年度に限りご担当いただく予定です。あらかじめご了承くださいませようをお願い申し上げます。
4. 勤 務 地：大東文化大学 東松山校舎（埼玉県）
5. 採用予定：2026年4月1日（予定）
6. 応募条件：修士以上の学位、またはこれと同等の社会科学分野における研究業績を有し、『ケアの社会学』・『福祉医療政策』の授業を社会科学的視点から体系的に講義できる方。実務経験のみの方ではなく、学術的研究に基づいた教育が可能な方。
7. 応募締切：2025年9月8日（月）必着
8. 提出書類：1）履歴書1通（写真貼付、E-mailアドレスを記載のこと）
※文部科学省様式第4号（その1）を使用してください。
2）教育研究業績書一覧
※文部科学省様式4号（その2）を使用してください。
3）主要業績(各科目につき1点、コピー可)
※各科目につき1点ずつご提出ください。各業績には、400字程度の要約を添付してください。
4）担当予定科目（2科目）の各15回分の授業計画（半期分）
※別紙の現行シラバスをご参照のうえ、ご自身の授業内容として再構成してください。

*応募書類に記載された個人情報、本選考の目的以外には使用いたしません。

9. 応募書類の提出方法・提出先：応募書類の封筒の表に、「ケアの社会学・福祉医療政

策（社会学部非常勤講師応募書類）」と朱書のうえ、追跡可能な方法（簡易書留等）にて下記住所まで郵送してください。

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 大東文化大学 社会学部事務室 宛

*応募書類は原則として返却いたしません(返却を希望する場合は、その旨を明記し、返送先を記載した封筒と切手を同封してください)。

- 1 0. 選考内容：書類審査、および必要に応じて面接、模擬授業などを課す場合があり、その際は対面またはZoom等を利用します（面接のための交通費は応募者負担）。
- 1 1. 採否の結果：選考終了後、ご本人に通知します。選考に関する問い合わせには応じられません。採用後の待遇は、本学の規定によります。
- 1 2. 問い合わせ先：大東文化大学社会学部事務室 TEL：03-5399-7356

以上

ケアの社会学

授業の概要	「具体的な他者を対象に、その存在の意欲を喚起・恢復・維持することを目的になされる支援行為（関心、気遣い、配慮、世話など）」。このようにケアを定義し、家族をはじめとする親密圏、学校、医療、福祉施設などにおける支援や援助行為に着眼し、ケアを成立・持続・安定させる心理的、社会的な諸条件について考える。ケアする側の「動機の問題」、ケアされる側の「依存の問題」、ケアを管理する学校や医療施設の「環境の問題」や「倫理の問題」等に関して、具体的な臨床事例に依拠しながら、総合的な考察を試みることになる。		
授業の到達目標	現代の日本におけるケアに関する現状や研究動向を理解し、テーマ別に学ぶことで、それぞれの問題についての自分なりに考察ができるようになる。		
DP一覧表			
授業の方式	対面方式		
授業の方法①	毎授業リアクションペーパーに意見・質問を記入すること。その回答については、次回以降の授業でフィードバックする。また、授業内で提示した題材や議題についてのグループワークやディスカッションを行う。		
授業の方法②	特徴		該当有無
	A：企業や自治体と連携した課題解決型学習（PBL）		
	B：討議（ディスカッション、ディベート等）		あり
	C：グループワーク		あり
	D：プレゼンテーション		
	E：実習、フィールドワーク		
	F：双方向授業（ICT活用あり：クリック、DBmanaba等）		あり
	G：双方向授業（ICT活用なし：対話型、リアクションペーパー等）		あり
	H：授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う（反転授業）		
	I：外国語のみで行われる授業		
	J：インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業		
	K：統一試験結果に基づくクラス編成による授業		
	L：少人数クラス編成による授業		
	M：国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業		

	第1回	授業内容		担当教員
		ガイダンス・ケアの社会学とはなにか		
		準備学修（予習・復習等）		必要な時間
		各自ケアについて自身の興味関心を説明できるようにしておくこと		4時間
	第2回	授業内容		担当教員
		ケアの社会学①：キュアからケアへ		
		準備学修（予習・復習等）		必要な時間
		前回授業の資料に目を通しておくこと		4時間
	第3回	授業内容		担当教員
		ケアの社会学②：自立と依存・当事者とニーズ		
		準備学修（予習・復習等）		必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと		4時間
	第4回	授業内容		担当教員
		子どもとケア①：学校におけるケア		
		準備学修（予習・復習等）		必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと		4時間
	第5回	授業内容		担当教員
		子どもとケア②：子どもの貧困		
		準備学修（予習・復習等）		必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと		4時間
	第6回	授業内容		担当教員
		子どもとケア③：子育て支援・社会的養護		
		準備学修（予習・復習等）		必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと		4時間
	第7回	授業内容		担当教員
		貧困とケア①：貧困とは何か		
		準備学修（予習・復習等）		必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと		4時間

(別紙) 授業 計画	第8回	授業内容	担当教員
		貧困とケア②：社会福祉	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間
	第9回	授業内容	担当教員
		高齢者とケア①：老いと衰え	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間
	第10回	授業内容	担当教員
		高齢者とケア②：介護する家族	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間
	第11回	授業内容	担当教員
		ケアの担い手①：ケアの担い手としての協セクター	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間
	第12回	授業内容	担当教員
		ケアの担い手②：介護・介助におけるジェンダー	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間
	第13回	授業内容	担当教員
		ケアと環境①：動物とケア	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間
	第14回	授業内容	担当教員
		ケアと環境②：環境へのケア	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間
	第15回	授業内容	担当教員
		まとめ：ケアの社会学に向けて	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		過去授業の資料に目を通しておくこと	4時間

授業の概要	少子高齢化という社会変動がもたらした最大の問題が、福祉・医療問題である。言い換えればこれは、人口問題から経済問題へとその焦点をシフトさせるものであり、既存の福祉・医療制度の改革を提起するものである。本講義では、まず介護保険、保育制度、医療制度、年金などについて世界の先進事例も含めながら、わが国の福祉・医療制度の現状を学んでいく。さらにこれを基礎に、今後の日本の福祉・医療政策について熟考するための知識の修得を目指す。	
授業の到達目標	社会福祉政策について基本的な制度を理解することができ、それを踏まえて今後の制度の方向性について自分の考えを明確に表現できる。	
DP一覧表		
授業の方式	対面方式	
授業の方法①	授業形態は講義になります。パワーポイント資料を使用し、授業を進めていきます。	
授業の方法②	特徴	該当有無
	A：企業や自治体と連携した課題解決型学習（PBL）	
	B：討議（ディスカッション、ディベート等）	
	C：グループワーク	
	D：プレゼンテーション	
	E：実習、フィールドワーク	
	F：双方向授業（ICT活用あり：クリッカー、DBmanaba等）	
	G：双方向授業（ICT活用なし：対話型、リアクションペーパー等）	
	H：授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う（反転授業）	
	I：外国語のみで行われる授業	
	J：インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業	
	K：統一試験結果に基づくクラス編成による授業	
	L：少人数クラス編成による授業	
	M：国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業	

授業計画	第1回	授業内容	担当教員
		ガイダンス 社会保障入門①日本における社会保障制度の概要	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
	第2回	授業内容	担当教員
		社会保障入門 ②社会保障制度の考え方・財源・諸外国の制度について	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
	第3回	授業内容	担当教員
		医療保険制度の沿革、仕組みと改革の流れ	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
	第4回	授業内容	担当教員
		介護保険制度の導入、仕組みと改革の流れ	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
	第5回	授業内容	担当教員
		年金制度の仕組み・歴史・改革の流れ	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
	第6回	授業内容	担当教員
		労働保険制度の仕組みと改革の流れ	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
	第7回	授業内容	担当教員
		資本主義の成立・展開と福祉政策	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
	第8回	授業内容	担当教員
		医療・福祉財政 ① わが国の財政事情	
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間

	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
第9回	授業内容	担当教員
	医療・福祉財政 ② 医療財政を考える視点	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
第10回	授業内容	担当教員
	医療・福祉財政 ③ 社会保障・税一体改革と消費税増税	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
第11回	授業内容	担当教員
	日本の医療政策の歴史	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
第12回	授業内容	担当教員
	医療分野で地方自治体が抱えている課題	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
第13回	授業内容	担当教員
	諸外国の医療政策	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
第14回	授業内容	担当教員
	医療福祉政策の今	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間
第15回	授業内容	担当教員
	まとめ	
	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	授業配布予定の資料に目を通しておくこと	4時間